

研修会報告

平成 28 年 4 月 24 日

文責：細胞診部門長 大崎市民病院 臨床検査部 戸村弘樹

研修会テーマ「平成 27 年度細胞診部門精度管理フォローアップ研修会」

開催日時 平成 28 年 4 月 24 日（日）14：00～17：00

会場 東北大学病院 病理部 討論室

講演・講師

1) 平成 27 年度細胞診部門精度管理調査報告

東北大学病院 病理部 安達友津

2) 設問別解説・参考調査解説

各設問出題者 5 名

3) 『膀胱腫瘍の病理診断の実際と小話』

東北大学医学部 病理診断学 中村保宏先生

生涯教育点数 専門 20 点

参加者 会員参加者 18 名 実務委員 4 名 計 22 名

内容

今回も例年通り平成 27 年度に行われた宮城県臨床検査技師会細胞診部門精度管理調査のフォローアップ研修会を開催した。

講演 1 では、平成 27 年度細胞診部門精度管理調査報告として東北大学病院 病理部 安達友津精度管理委員より、報告会では時間の都合上報告出来なかった詳細な内容まで報告された。設問 1 は、正解率が 8 割をきったため評価対象外となったが、ベセスダ分類とクラス分類との評価方法の違いによる可能性が指摘された。今後の検討内容としたい。

講演 2 では、各設問別に出題者より、出題意図と解説が行われた。

講演 3 では、東北大学医学部 病理診断学 中村保宏先生より『膀胱腫瘍の病理診断の実際と小話』と題して講演して頂いた。膀胱腫瘍の総論から病理診断の実際まで、詳細に説明して頂いた。特に、新たに開発された免疫染色による尿路上皮癌の診断については、今後の業務を行っていく上で大変参考になった。

精度管理調査は、県内の各施設の現状を知る上で非常に有用な事業である。また、誤ったやり方を正し、より精度の高い検査を目指していく上で非常に良い勉強材料である。調査だけではなく、県内の技師で勉強し合えるこのような研修会を次年度も続けていきたい。